

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【公開番号】特開2009-104245(P2009-104245A)

【公開日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【年通号数】公開・登録公報2009-019

【出願番号】特願2007-273045(P2007-273045)

【国際特許分類】

G 06 T 7/00 (2006.01)

G 06 T 1/00 (2006.01)

【F I】

G 06 T 7/00 300 E

G 06 T 1/00 500 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0051】

このようなステップS102とS103の処理と並行して、ステップS104において、特徴点識別能力値演算部33は、モデル画像21-1乃至21-Nのそれぞれから、特徴量画像41-1乃至41-Nをそれぞれ生成する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

ステップS105において、特徴点識別能力値演算部33は、モデル画像21-1の各特徴点(ステップS102の処理で抽出され、ステップS103の処理で特徴量記述化された各特徴点)のうちの、識別能力を演算したいP個(Pは、ステップS102の処理で抽出された個数以下の整数値)の特徴点についてそれぞれ、相関画像を生成する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0111

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0111】

ステップS151-2において、相関画像生成部52は、モデル画像21のベース点bnについて、クエリ画像22の特徴量画像の各画素値(即ち、各画素の特徴量)と、ベース点bnにおけるサポート点snm(mは、1以上の整数値)の各特徴量とのマッチングをそれを行ふことで、m個の相関画像を生成する。さらに、相関画像生成部52は、サポート点snmの存在位置(相関画像の対応画素位置)を、ベース点bnの存在位置(相関画像の対応画素位置)にシフトすることで、ベース点b1乃至b4のそれぞれについて、図15のS151-2の枠内に示されるようなm個のサポート点シフト相関画像をそれぞれ生成する。